

1. 挨拶、新年度のUG体制(清水)

いろいろな事に関してユーザー間で意見のやりとりすることは重要。BLスタッフの努力のおかげでこれまでできているが、BLスタッフと直接会って議論することは重要。KEK次期放射光のこともあるので皆さんの意見をお願いします。

スライド(http://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/20170313_1.pdf)を用いて、幹事メンバーの紹介と任期について説明。任期2年再任1回、または、任期2年再任2回の2案を提示。どちらにするか決まっていない。今後幹事会内で議論して決定する予定。決定後皆さんにご報告する。

西野さんより

全体の流れ進行プログラムにそって説明

- ① 挨拶、新年度のUG体制(清水) (5分)
- ② 施設からのビームライン現状(松垣、山田) (10分)
- ③ UG活動報告(講習会/研究会)(藤橋、尾瀬) (10分)
- ④ アンケート結果とUG議論 (30分) (司会: 西野)
 - (1) アンケート結果報告 (海野)
 - ・ 施設から (アンケート結果を受けて) (松垣)
 - (2) 参加者との議論
 - ・ 来年度の研究会について
 - ・ ビームラインソフトウェアについて
 - ・ ビームタイムシフトについて
 - ・ 自動化について
 - ・ 施設側のコメント
- ⑤ 来年度のPF_PACの審査について(清水) [1分]
- ⑥ まとめ [5分]

懇親会 (ビストロポリツア)

2. 施設からのビームライン現状 (松垣)

スライド (http://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/20170313_2.pdf) を用い現状と開発計画を報告。詳細はスライドをみてください。

松垣さんの発表を受けて質疑応答

Q. しもとりの機械化はNE3Aだけか?

Ans. 現在はそう。好評なら他のBLも考える。

3. UG活動報告(講習会／研究会)(藤橋/尾瀬)

✓ 中級者講習会

スライド(http://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/20170313_3_1.pdf)を用いて講習会の内容を紹介。

中級者講習会の各演者の発表スライドは 幹事会HP (<http://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/shiryo.html>) からdownloadできます

✓ PF研究会

スライド(http://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/20170313_3_1.pdf)を用いて研究会の内容を紹介

PF研究会の発表内容に関しては、proceeding (<http://www2.kek.jp/imss/pf/workshop/kenkyukai/20160801/>)があるので、内容に興味があればそこからダウンロードして試みる事ができます。可能な範囲で掲載している。

4. アンケート結果とUG議論

(1) アンケート結果報告

- ・ UGグループ(海野)からアンケートの結果について

スライド(http://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/20170313_4_1.pdf)を用いて説明。個別意見についてはリモート測定がもっと扱い易くなってほしい、などなどを選別して紹介。

- ・ 施設から(アンケート結果を受けて)(松垣)

スライド(http://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/20170313_4_2.pdf)を用いて全ての質問に介して回答して下さった。

(2) 参加者との議論

- ・ 来年度の研究会について
- ・ ビームラインソフトウェアについて
- ・ ビームタイムシフトについて
- ・ 自動化について

施設側のコメント

ユーザーからデータを集めて、他のソフトで処理してみたいと考えている。UGで処理の講習会をしたい。2年後に全廃止が施設の希望ではある。

議論

時間がなく、あまり議論ができなかったが、ビームラインソフトウェアについて、特に XDS について議論がなされた。会場のどれくらいの人がXDSのみでOKと考えているのかなど挙手してもらおう。

意

ータ収集と処理という観点で講習会をひらくことにする。

5. 来年度の PF_PAC の審査について(清水)

スライド (http://research.kek.jp/group/pxpfug/katsudo/20170313_5.pdf) を用いて、現在問題になっている事、来年度の審査方法を説明。

問題点：生命科学 I の分科会審査において、結晶の準備状況について不明確な申請書が多く、審査に支障をきたすことがある。

来年度の審査

- ・生命科学 I で審査する申請については、申請書に結晶の準備状況の一覧を提出することを義務付ける。
- ・課題申請システムのファイル添付欄により、提出を求める。
- ・使用する様式は平成 29 年度後期公募に対応するように作成する。